

松井田城跡案内図

至高梨子

九十九川

至新井

至坂本



この城跡は、松井田町大字新堀、高梨子および新井に位置し、碓氷川と九十九川にはさまれ、標高およそ250～410mの尾根上に築城された戦国期の大きな山城の跡です。

城跡の主要部は、およそ東西に1km、南北に1.5kmにおよび、ところどころを堀切で断ち、その間に10ヶ所ほどの郭が並んでいます。主郭の一つである「安中郭」は昭和49年(1974)に安中市史跡(当時は松井田町)に指定されました。

この城は、数度の改修がなされ、北条氏支配の天正年間には大道寺駿河守政繁が城主となり大改修拡張し、現遺構のように完成し北条氏(小田原)の築城法を示す典型的な山城となりました。

天正18年(1590)、豊臣秀吉の小田原攻めで、前田利家、上杉景勝、真田昌幸に攻められ落城しました。

戦国時代の城としての遺構を現在までよく残している全国的にみても貴重な城跡です。

- お願い・城跡一帯は個人所有の山林です。樹木を傷めないでください。
- ・植物や昆虫を採らないでください。
 - ・ゴミは持ち帰りましょう。
 - ・たき火、タバコの投げすてはやめましょう。